

4月

# 令和6年東京中央卸売市場青果物市況見通し

令和6年3月28日(木)作成

JA全農さいたま園芸販売課 大田市場駐在

品目	本年入荷見込み		本年予想価格		前年出回り主力産地			摘	要
	前年入荷比 (前年入荷)	平年入荷比 平年入荷	本年見通し価格 (前年価格)	平年価格比 平年価格					
だいこん	100%	89%	95円	101%	千葉	茨城	神奈川	千葉産主力出回り、播種以降の天候に恵まれ生育は前進傾向だったが、3月の低温の影響で若干肥大の遅れが見られる。出荷量は平年をやや下回る見込み。総入荷量は前年比100%で前年並みだが平年を下回り、価格は95円/kgと前年をやや下回るが平年並みの見込み。	
	(8,455トン)	9,512トン	(99円)	94円					80%
にんじん	98%	85%	170円	114%	徳島	千葉	静岡	徳島産主力の出回り、3月中旬から各地区より出荷開始。3月単月の県下出荷計画は9,481トン(前年比120%)。中旬以降、出荷件数が増加し、計画に近い出荷量で推移している。等階級はML中心。4月は出荷ピークとなり、毎旬6,000トン程度の出荷となる見通し。総入荷量は前年比98%で前年並みだが平年を下回り、価格は170円/kgと前年並みだが平年を上回る見込み。	
	(6,851トン)	7,944トン	(173円)	149円					84%
キャベツ	99%	93%	105円	104%	神奈川	愛知	千葉	神奈川・愛知産中心の出回り。神奈川産は、年末年始は干ばつ傾向で生育停滞していたが、2月以降は適度な降雨と気温上昇により生育回復している。春系品種が3月下旬より出荷が本格化し、4月上旬ピークを向かえる見込み。愛知産は、気温が高く、降雨もあるため玉肥大が進み2L比率が高く前進出荷となっている。冬系は例年より早く4月上旬には終了見込み。春系は例年並みの出荷を見込む。総入荷量は前年比99%で前年並みだが平年をやや下回り、価格は105円/kgと前年並みだが平年をやや上回る見込み。	
	(17,438トン)	18,626トン	(106円)	101円					42%
ほうれん草	104%	98%	450円	102%	茨城	群馬	埼玉	茨城・群馬産中心の出回り。関東産は、低温の予報もあるが日照時間が伸び順調な生育が続き、出荷量の増量が予想される。そのため、総体量の増加から荷余り感が強まる見込み。総入荷量は前年比104%で前年をやや上回るが平年並み、価格は450円/kgと前年を大きく下回るが平年をやや上回る見込み。	
	(1,232トン)	1,309トン	(529円)	441円					45%
ねぎ	94%	91%	350円	107%	千葉	埼玉	茨城	千葉・埼玉・茨城産中心の関東各県からの出回り。千葉産は、気温が高く定期的な降雨もあり生育はやや前進し、太物中心の出荷となる見込み。4月からは春ねぎが増量となり出荷量は少なかった前年を上回る見通し。茨城産は、作付面積は前年に比べ減少。適度な降雨と気温から生育は順調。春ねぎは例年通り3月中旬から出荷開始、4月上旬から増加となる見込み。出荷量はやや多かった前年を下回る見通し。総入荷量は前年比94%で前年・平年を下回り、価格は350円/kgと前年・平年を上回る見込み。	
	(3,442トン)	3,572トン	(313円)	328円					35%
ブロッコリー	95%	86%	480円	112%	香川	熊本	長崎	香川・熊本・長崎産中心の出回り。香川産は、春作の品種に切り替わり出荷量は増量の見込み。熊本産は、適度な降雨があり月末にかけて出荷量は増量の見通し。愛知産は、気温が上がる予報から出荷量は回復を見込む。総入荷量は前年比95%と前年・平年を下回り、価格は480円/kgと前年並みだが平年を上回る見込み。	
	(2,659トン)	2,933トン	(481円)	427円					29%
きゅうり	99%	91%	300円	110%	群馬	埼玉	宮崎	群馬・埼玉等の関東産に西南暖地産の出回り。群馬産は、生育は概ね順調。3月下旬には各地区ともに促成作の生産者が出揃い4月末までピークとなろう。出荷量は前年並みの見込み。宮崎産は、天候に恵まれ生育は概ね順調。ただし一部で芯止まりや草勢の低下が見られる。出荷量は前年・平年並みの見通し。総入荷量は前年比99%で前年並みだが平年を下回り、価格は、300円/kgと前年をやや下回るが平年を上回る見込み。	
	(6,370トン)	6,957トン	(312円)	273円					28%
トマト	97%	85%	360円	96%	熊本	栃木	愛知	熊本・栃木産中心に愛知産を加えた出回り。熊本産は、着果の弱い段を徐々に抜け日照時間の増加に伴い果実も肥大が進んでいる。4月は着果も良好なことから安定的な出荷を見込む。天候にもよるが、ピークは4月下旬-5月上旬となろう。栃木産は、越冬作は成り疲れから小玉傾向でM中心。冬春作は生育良好で肥大も良好。今後は冬春作は増加するが越冬作が減少するため出荷量は前年をやや下回る予想。総入荷量は前年比97%で前年・平年を下回り、価格は360円/kgと前年・平年を下回る見込み。	
	(5,829トン)	6,681トン	(408円)	374円					31%
いちご	95%	89%	1140円	103%	栃木	福岡	茨城	栃木産主力に、九州から関東の主要産地からの出回り。栃木産は3番果がピークとなり出荷量は増量の見込み。九州産は、好天の予報から生育順調で出荷ピークが続く見込み。気温上昇し品質劣化が早くなることから、価格を下げての販売となろう。総入荷量は前年比95%で前年・平年を下回り、価格は1,140円/kgと前年並みだが平年をやや上回る見込み。	
	(4,309トン)	4,607トン	(1137円)	1,106円					48%